

施策 141 犯罪に強いまちづくり

【主担当部局：警察本部】

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体と連携した犯罪抑止活動が展開されるとともに、発生した犯罪が検挙されることで、県民一人ひとりの安全が保たれ、安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。

平成 31 年度末での到達目標

被害者に重大な危害を及ぼす重要犯罪等がさまざまな主体と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動により減少しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知 件数	17,550 件 (26 年)					(調整中)
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く。）について、1 年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
28 年度目標値 の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
14101 みんなで 進める犯罪抑 止活動と犯罪 被害者等支援 の充実・強化 (警察本部)	防犯ボランテ ィアの団体数	604 団体 (26 年)					(調整中)
14102 犯罪の徹 底検挙のため の活動強化 (警察本部)	重要犯罪の検 挙率	74.8% (26 年)					(調整中)
14103 県民の安 全を守る活動 基盤の整備 (警察本部)	交番・駐在所の 建て替え整備 数(調整中)	1 か所					(調整中)

現状と課題

- ① 地域の安全と安心を確保するため、犯罪の抑止と検挙に取り組んできた結果、平成 26(2014)年中の刑法犯認知件数は、ピークであった平成 14(2002)年から6割以上減少するなど、犯罪情勢には一定の改善が見られます。一方、県民に強い不安を与える凶悪犯罪や侵入犯罪、子ども・女性が被害者となる性犯罪等は後を絶たず、また、平成 26(2014)年中のストーカー・配偶者暴力事案の認知件数、特殊詐欺の被害額が過去最高を記録するなど、県民の皆さんの不安を解消するには至っていません。このほかにも、サイバー空間が県民の日常生活の一部となっている中で、インターネットバンキング不正送金事案等のサイバー犯罪の多発やサイバー攻撃の危険性の増大といったサイバー空間における脅威の深刻化など、社会情勢の急激な変化に伴う新たな問題が出現しています。
- ② このような現状において、県民の皆さんの安全が保たれ、安心して暮らせる地域社会を構築していくためには、自治体や地域住民、ボランティア団体などのさまざまな主体と連携した犯罪抑止活動はもとより、社会経済情勢の変化等に伴う捜査環境の変容に柔軟に対応した検挙活動を一層推進していく必要があります。

平成 28 年度取組方向

警察本部

- ① 多様な主体との「協創」による犯罪に強いまちづくりを推進します。特に、子どもの安全確保・非行防止対策や高齢者に重点を置いた特殊詐欺対策、繁華街等における犯罪抑止対策などを促進するとともに、安全・安心なサイバー空間の確保に取り組めます。また、犯罪被害者等支援に対する県民の理解を得ることで、犯罪に遭わない・起こさない意識を醸成します。
- ② 犯罪を徹底検挙するため、迅速・的確な初動捜査の徹底、各種捜査支援システムの活用、科学捜査の高度化など、犯罪の痕跡と犯人を結び付ける事後追跡可能性や客観的証拠の確保に向けた取り組みを推進します。
- ③ 警察活動を支える基盤を強化するため、地域住民の安全・安心の拠り所である交番・駐在所等の施設や警察活動に必要な装備資機材等の整備充実を図ります。
- ④ 主要国首脳会議の開催決定を踏まえ、各国首脳等の身の安全確保と会議の円滑な進行に支障が生じることのないよう、県民の皆さんの理解と協力を得ながら、テロ対策を始めとする警備諸対策を推進します。

環境生活部

- ⑤ 防犯カメラの有効性とプライバシー保護との調和を図り、防犯カメラに対する県民の不安を緩和し、その設置を促進することを目的に「三重県防犯カメラの設置及び運用にかかるガイドライン（仮称）」を平成 27 年中に策定する予定です。また、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する取組として市町や自主防犯団体などが行う防犯カメラ等の設置に対する補助制度の検討を進めます。
- ⑥ 安全で安心な社会にとって新たな脅威となりつつある諸問題に総合的かつ横断的に対応する必要が急務であり、「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の策定に取り組めます。

① (新)子ども安全サポート事業

【基本事業：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】

予算額：(27) ー 千円 → (28) 35,841千円

事業概要：非行少年や問題を抱える少年、SOSを発信する少年等に関する情報を収集・把握する仕組みを整え、児童・生徒の非行防止・犯罪被害防止につなげます。

② (新)特殊詐欺被害防止対策事業

【基本事業：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】

予算額：(27) ー 千円 → (28) 6,869千円

事業概要：特殊詐欺の被害が極めて深刻な情勢にある中で、高齢者に重点をおいた広報啓発活動や被害に遭わないための環境整備を促進するとともに、金融機関における水際対策を強化します。

③ (新)安全・安心まちづくりモデル事業

【基本事業：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】

予算額：(27) ー 千円 → (28) 18,655千円

事業概要：犯罪の未然防止と犯罪発生後の早期解決に資する街頭防犯カメラを設置することにより、自治体等における街頭防犯カメラの整備拡充を促進します。

④ (一部新)サイバー犯罪対処能力向上事業

【基本事業：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】

予算額：(27) 889千円 → (28) 8,064千円

事業概要：サイバー犯罪が悪質・巧妙化していることから、インターネット利用者の安全利用に向けた広報啓発活動や民間企業の知見を活用した対処能力の向上を図ります。

⑤ 通信指令室機器維持管理事業【基本事業：14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化】

予算額：(27) 213,789千円 → (28) 608,500千円

事業概要：110番通報内容や画像地図情報を警察本部と警察署間でリアルタイムに情報共有し、被疑者の早期検挙や被害者の安全確保につなげる通信指令システムの更新整備を図ります。

⑥ 警察署庁舎整備事業【基本事業：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(27) 521,028千円 → (28) 378,518千円

事業概要：警察を取り巻く環境変化に対応できる警察署庁舎整備に取り組みます。

⑦ (一部新)テロ等対策事業

【基本事業：14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化】

予算額：(27) 431千円 → (28) 1,244,607千円

事業概要：各国首脳等の身辺の安全確保、伊勢志摩サミット及び関連行事の円滑な進行の確保並びに安全・安心な県民生活の確保に万全を期すため必要な対策を確保するとともに、テロを未然に防止するため、警察と関係機関・団体、地域住民が緊密に連携して行う官民一体の日本型テロ対策を推進します。

環境生活部

⑧（一部新）安全安心まちづくり事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止対策と犯罪被害者等支援対策の推進】

予算額：(27) 949千円 → (28) 30,311千円

事業概要：犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する取組として、市町や自主防犯団体等が行う防犯カメラの設置に対する補助制度を実施します。また、安全で安心な社会にとって新たな脅威となりつつある諸問題に総合的かつ横断的に対応するため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の策定に取り組みます。